

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和6年10～12月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	57事業所
3. 回答率	45.6%
4. 業種別内訳	
製造業	10事業所
建設業	5事業所
卸売業	3事業所
小売業	22事業所
サービス業	17事業所
合計	57事業所

5. 実施時期

令和7年 1月上旬～3月上旬

6. 調査対象期間

令和6年 10月から12月（第3四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

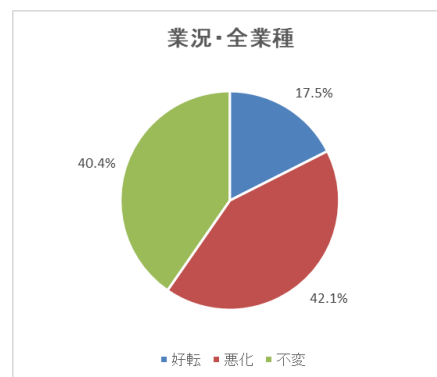
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和5年10月～12月）のD I値は▲24.6ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は17.5%、悪化したと回答した事業所が42.1%、変わらないと回答した事業所は40.4%だった。



令和5年10～12月の前年同期比について、人手不足や仕入価格の上昇が続き、厳しいという声が多かった。その中で、年末にかけてイベントが多く、売上が上がったという声もいくつかあった。

売上は上がっているが、価格転嫁に苦戦しているため、仕入価格の高騰に追い付かず採算性が悪化していると回答する事業者が依然として多い。

	R5. 10～12 前年同期比	R6. 7～9 前期比	R7. 1～3 見通し
全業種	▲24.6	▲24.6	▲17.5
製造業	▲10.0	▲10.0	▲10.0
建設業	0.0	0.0	▲20.0
卸売業	▲66.7	▲66.7	▲33.3
小売業	▲27.3	▲27.3	▲18.2
サービス業	▲29.4	▲29.4	▲17.6

来期見通し（令和7年1～3月）のD I値については、▲17.5ポイント。

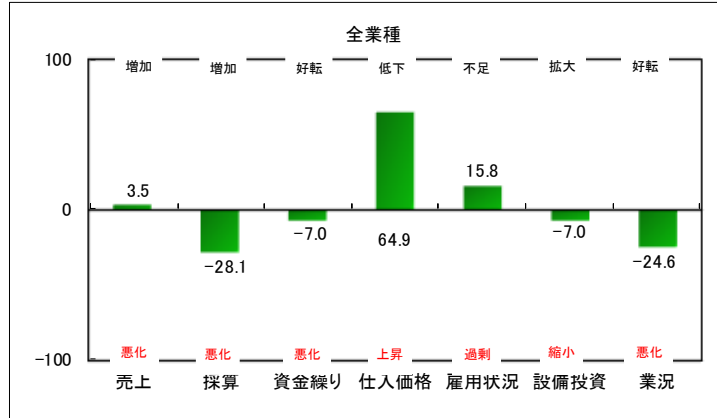
全業種、悪化の見込み。

各業種で、売上の増加を見込む回答はあるものの、景気回復が見込めないことを懸念する声が多かった。マイナス意見として、仕入価格の高騰、人手不足、資金繰りが厳しい等が挙がっていた。少数の回答ではあるが、新規事業展開や設備投資を行うといった前向きな声もあった。

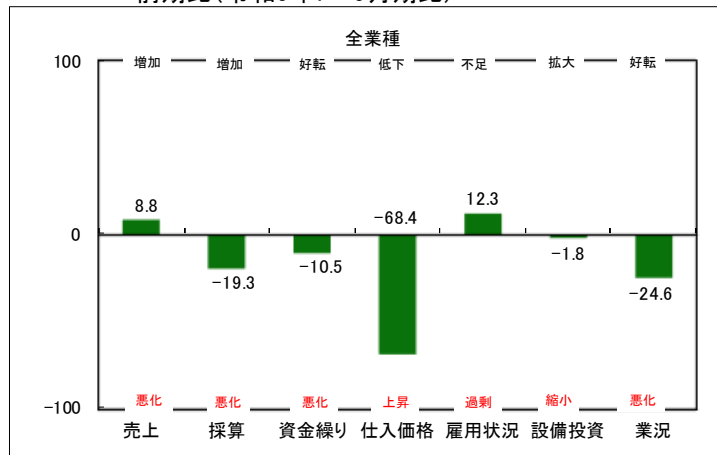
市内景気動向

全業種

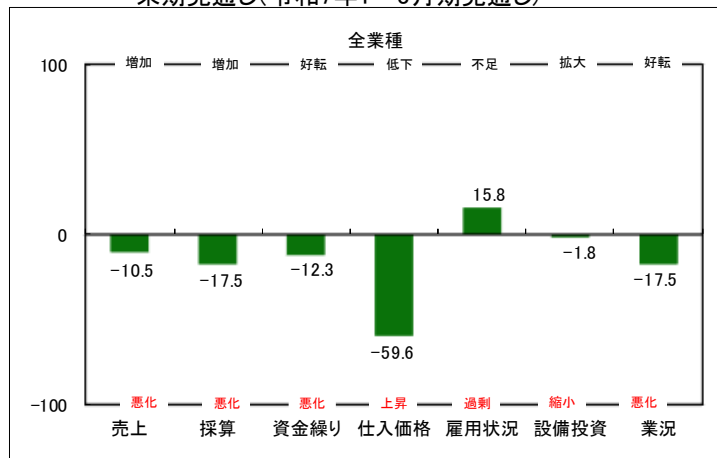
前年同期比(令和5年10~12月期比)



前期比(令和6年7~9月期比)



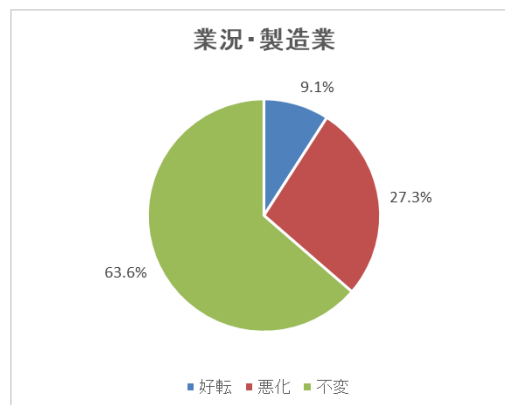
来期見通し(令和7年1~3月期見通し)



2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I値が▲10.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、20.0%、
悪化したと回答した事業所が30.0%、
変わらないと回答した事業所が50.0%だった。



来期見通しD I値については▲10.0ポイントで、
悪化の見通しとなっている。

○主な意見

【菓子・パン小売業】

- ・「原材料の高騰と燃料費の高騰により悪化」

【鉄鋼業】

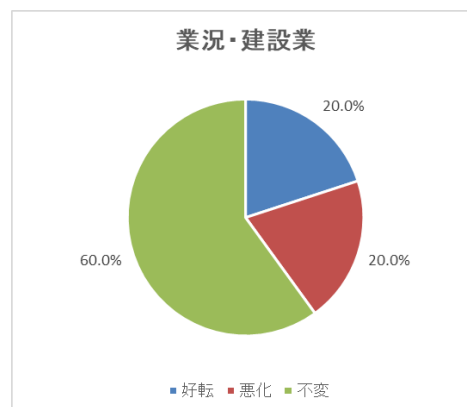
- ・「前年同期からすると鋼材価格大幅な値上げはなく高値安定のまま推移しているが、ものによって輸送費の問題で少し値上がり傾向にある。」

【金属加工機械製造業】

- ・「車業界の仕事が増えつつある他、新規顧客開拓できたため。ただし、仕入価格は上昇しており、資金繰りは厳しい。」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I値0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は20.0%、
悪化したと回答した事業所は20.0%、
変わらないと回答した事業所は60.0%だった。



来期見通しのD I値は、▲20.0ポイントで、悪化の見通しとなっている。

○主な意見

【土木建築サービス業】

- ・「事業拡大を行い、スタッフを増員した。ホームページやソフトウェアなど設備投資を行った。」

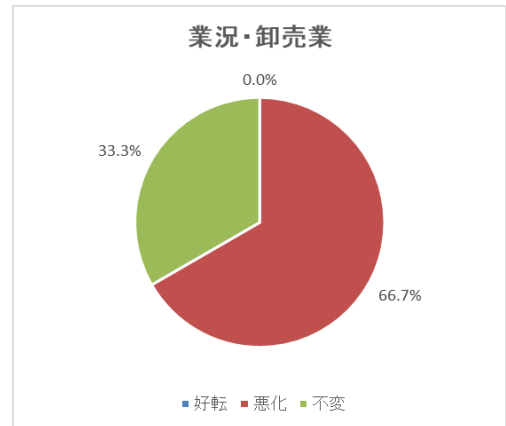
【内装仕上工事業】

- ・「見積案件の受注増加」

③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲66.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所が66.7%、
変わらないと回答した事業所33.3%だった。

来期の見通しD I 値は、▲33.3ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【建材卸業】

・「建築業界は全体として減少状況。工事代金の支払いが現金化され、資金繰り好転。」

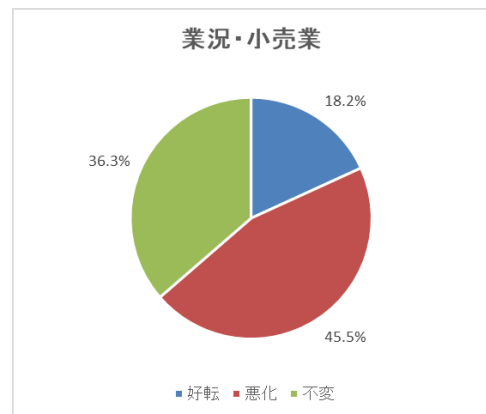
【文房具・事務用品業】

・「売上は増加の月もありましたが、仕入価格も上昇しているので利益は不変です。」

④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲27.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は18.2%、
悪化したと回答した事業所は45.5%、
変わらないと回答した事業所は36.3%だった。

来期の見通しD I 値は、▲18.2ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【自動車小売業】

・「令和6年9月～12月は特に厳しかったです。令和7年は今以上、物価高になるので、不景気が続き、また円安によって、倒産・廃業が増えると思います。今後が不安です。」

【眼鏡小売業】

・「仕入価格上昇は変わらず」

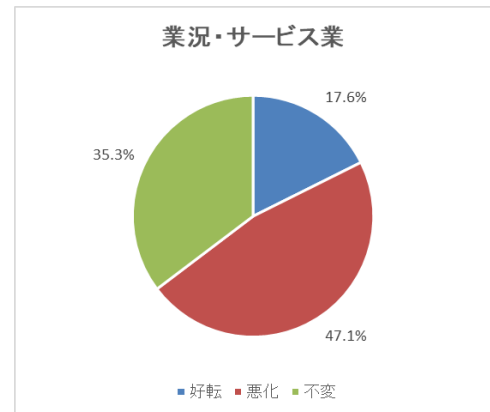
【飲食業】

・「生物の原価が高騰している。営業時間や料理など臨機応変に対応する事で売上アップに繋がっている。」

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲29.4ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は17.6%、
悪化したと回答した事業所は47.1%、
変わらないと回答した事業所は35.3%だった。

来期見通しD I 値は、▲17.6ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【衣服リフォーム業】

- ・「職人不足により営業が出来ない。」

【リハビリサロン業】

- ・「業務的にはお客様も多く、充実しているのですが、セラピスト不足により、収益が減少しているのが残念です。」

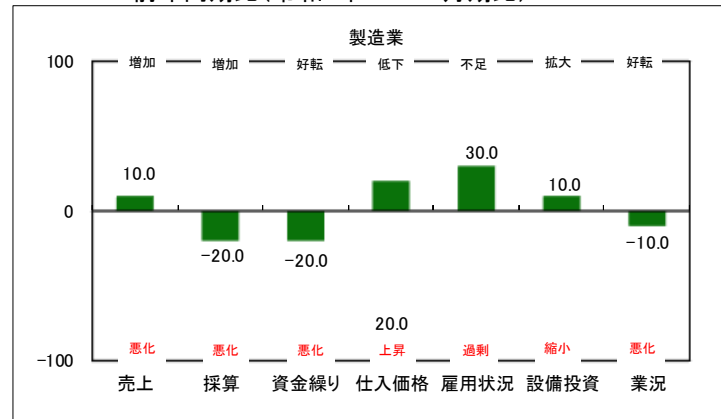
【飲食サービス業】

- ・「売上の減少と経費の増加。」

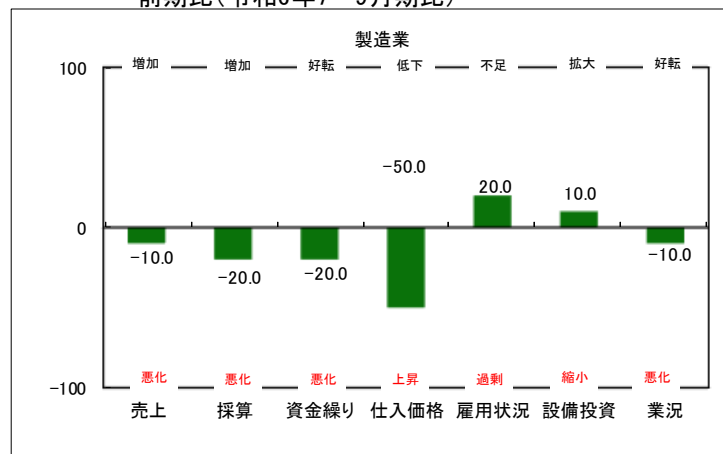
業種別景気動向

製造業

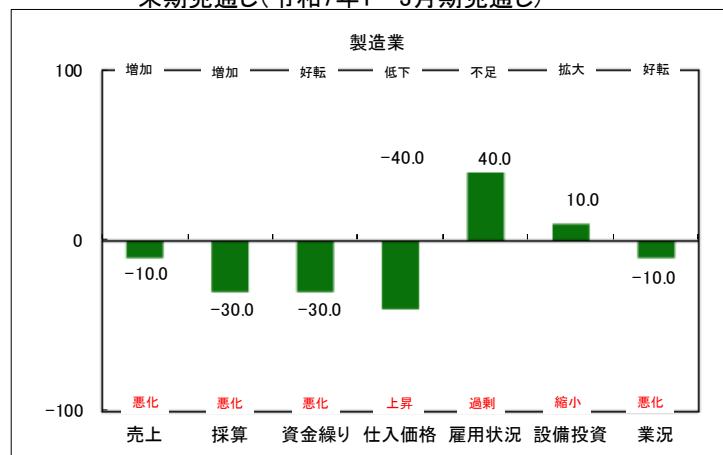
前年同期比(令和5年10~12月期比)



前期比(令和6年7~9月期比)



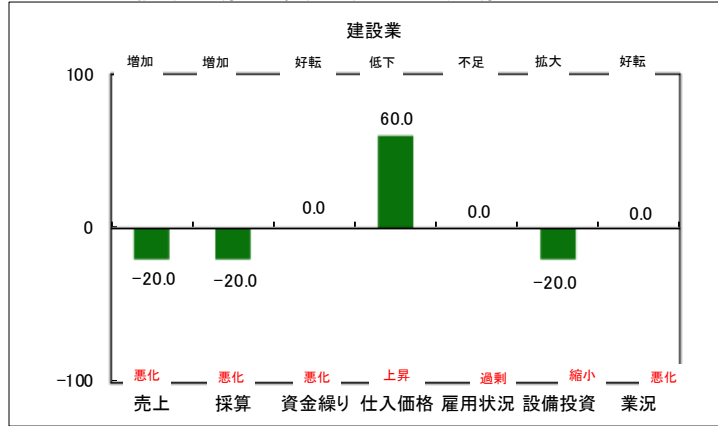
来期見通し(令和7年1~3月期見通し)



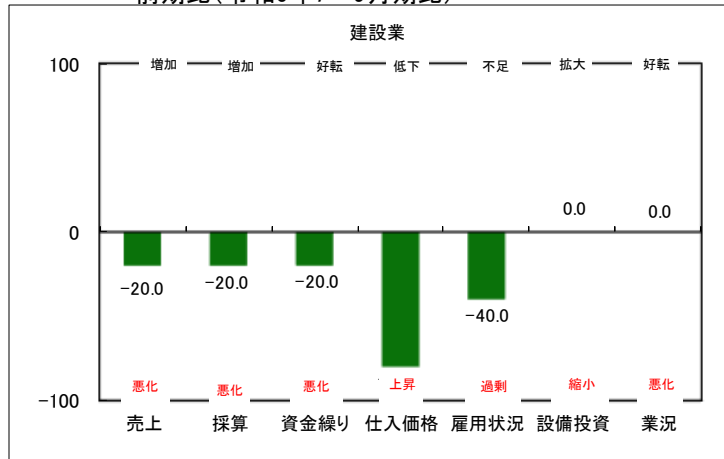
業種別景気動向

建設業

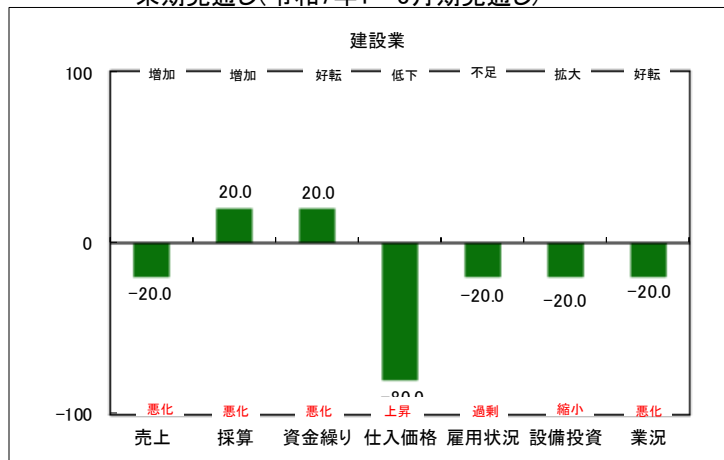
前年同期比(令和5年10~12月期比)



前期比(令和6年7~9月期比)



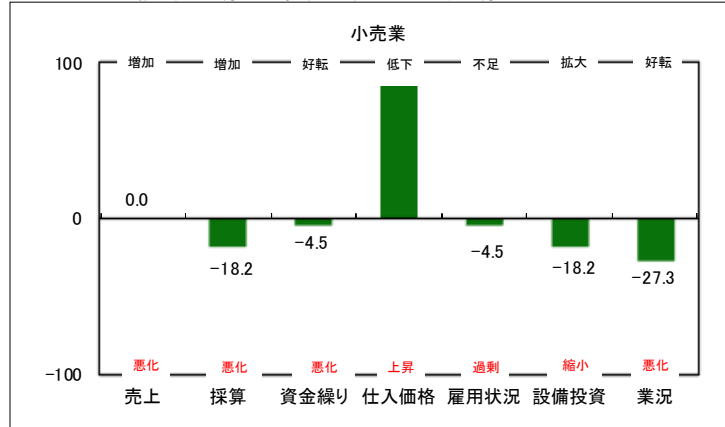
来期見通し(令和7年1~3月期見通し)



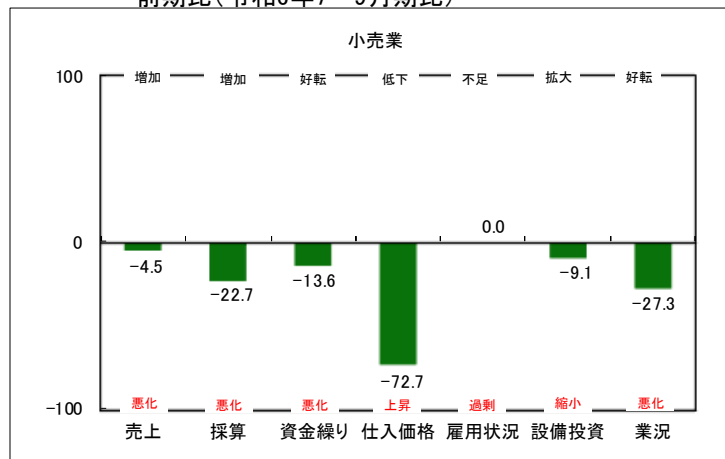
業種別景気動向

小売業

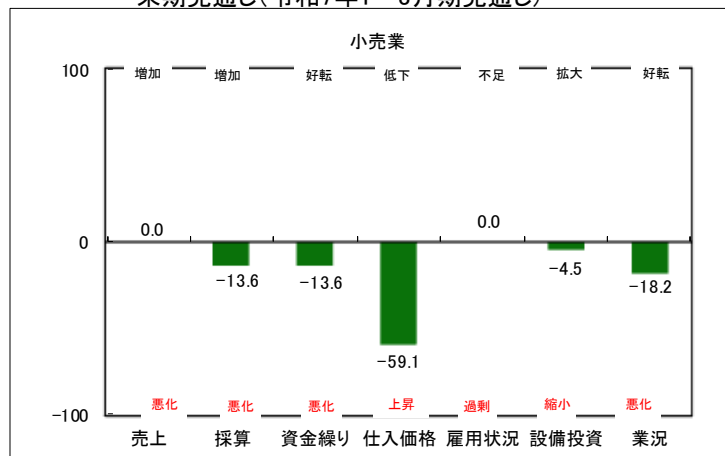
前年同期比(令和5年10~12月期比)



前期比(令和6年7~9月期比)



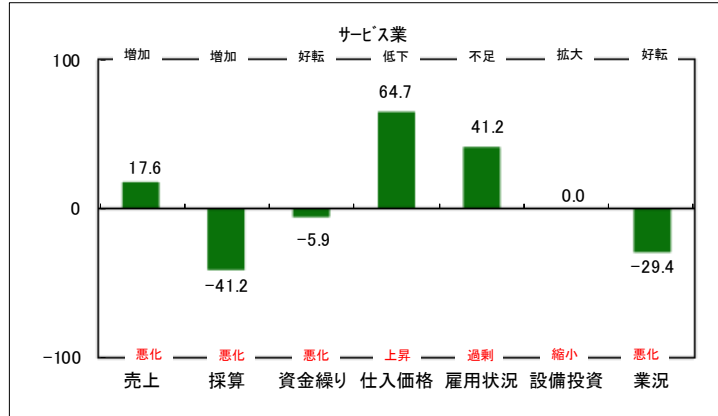
来期見通し(令和7年1~3月期見通し)



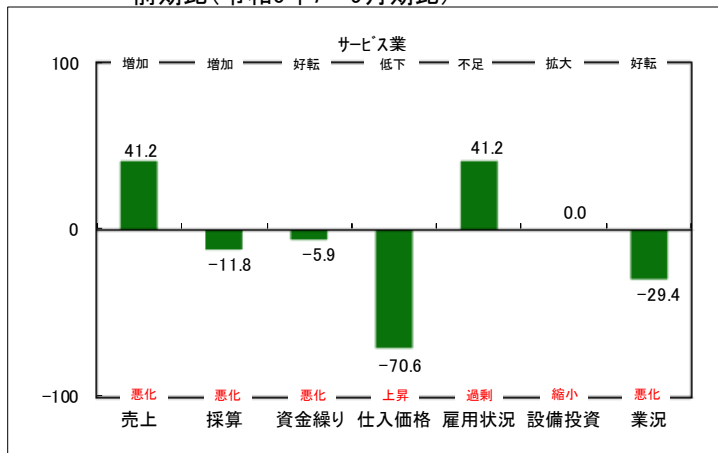
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和5年10~12月期比)



前期比(令和6年7~9月期比)



来期見通し(令和7年1~3月期見通し)

